

於：国立京都国際会館

マリー・キュリー

—放射線医療のパイオニア—



名古屋工業大学
工学研究科

川島 慶子

4. X線の発見から放射能の発見へ

1895: 陰極線の研究中にX線を発見(レントゲン・独)

1896: X線の研究中にウランからの放射線を発見
(ベクレル・仏)



1898~1903: ウランの放射能を研究中に, ウラン
鉱石ピッチブレンドより放射性新元素ラジウムとポ
ロニウムの発見(キュリー夫妻・仏(波))

5. ふたつのノーベル物理学賞とひとつの化学賞

- 物 { 1901: X線の発見 (レントゲン)
1903: 放射能の発見 (ベクレルとキュリー夫妻)
- 化 { 1911: ラジウムとポロニウムの発見 (マリー・キュリー)

マリー・キュリー

女性初のノーベル賞受賞者であり、
人類発の2つ目のノーベル賞受賞者

8. ラジウム研究所の誕生 (1914～)

	研究部門	初代所長
ラジウム研究所	基礎研究部門 放射性元素に関する物理学・科学の研究を行う	マリー・キュリー
	医学部門 放射能の医学への応用を研究する	クローディウス・ルゴー

* 1970年よりキュリー研究所と改名

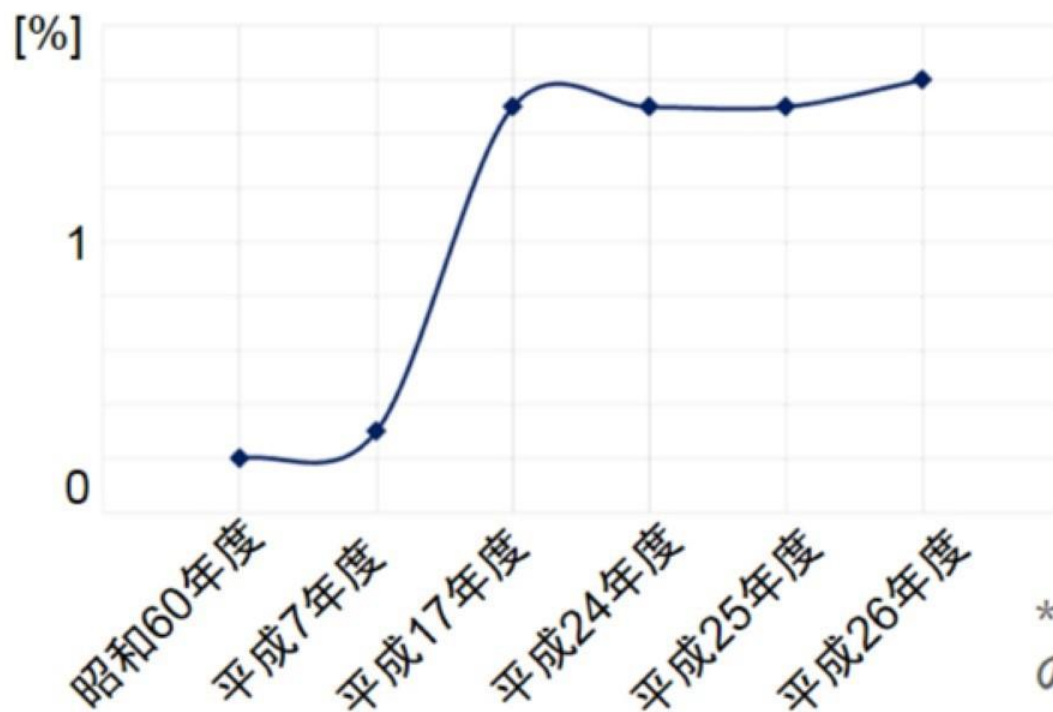
12. 社会の需要と女性の進路の関係 - 2

日本の状況 1

女性の高等教育の開始期 — 日本も欧米と同じ
「まず医学！」

今は？

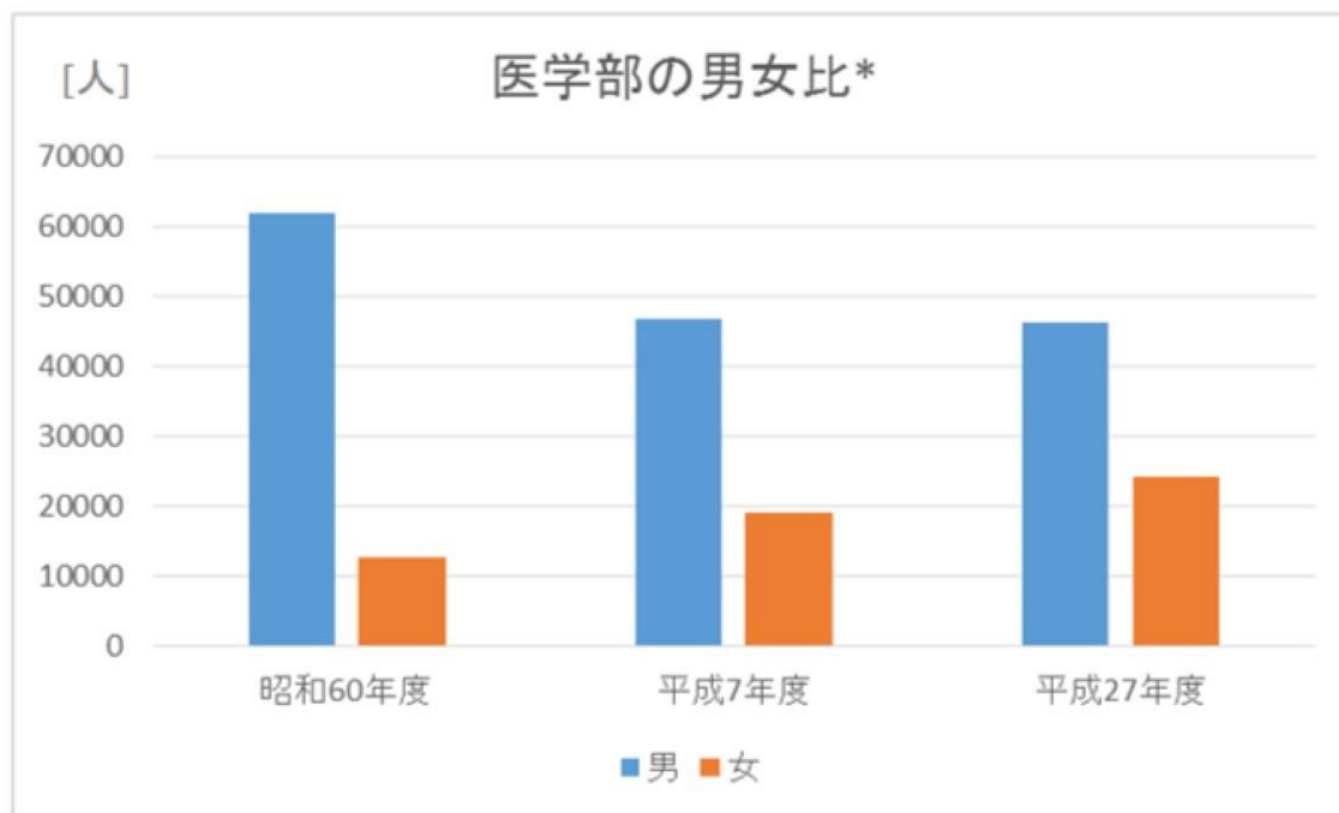
女子大学生の医学部所属率*



* 医学部+歯学部
のデータ

13. 社会の需要と女性の進路の関係 - 2

日本の状況 2 — 女子学生が再び増加傾向



* 医学部+歯学部
のデータ

14. マリー・キュリーを会員に選んだアカデミーのリスト-1

1904	モスコウ帝室人類学民俗学同好会
1904	イギリス王立科学普及会
1904	ロンドン化学協会在外会
1904	バタヴィア哲学協会通信会
1904	メキシコ物理学協会
1904	メキシコ科学学士院
1904	ワルソー工業商業奨励会
1906	アルゼンチン科学協会通信会
1907	オランダ自然科学協会
1908	セント・ペテルスブルグ帝室科学学士院
1908	ブラウンシュヴァイク自然科学協会
1909	ポーロニヤ科学学士院
1909	チェコ科学文学美術学士院
1909	フィラデルフィア薬学専門学校
1909	クラコウ理科学士院
1910	チリ科学協会
1910	アメリカ哲学協会
1910	スウェーデン王立科学学士院
1910	アメリカ化学協会
1910	ロンドン物理学会

1911	ロンドン物理研究会
1911	ポルトガル科学学士院
1912	ベルギー化学協会
1912	セント・ペテルスブルグ帝室実験医学学会
1912	ワルソー科学協会
1912	レンベルク大学哲学
1912	ワルソー写真協会
1912	ヴィルナ科学同好会
1913	アムステルダム王立科学学士院
1913	エディンバラ科学美術協会
1914	モスコウ大学物理医学会
1914	ケンブリッジ哲学学会
1914	モスコウ科学学会
1914	ロンドン衛生学会
1914	フィラデルフィア自然科学学士院
1918	スペイン王立医学電気学放射学協会
1919	スペイン医学電気学放射学協会
1919	マドリッド・ラジウム研究所
1919	ポーランド化学協会

■ 医療関係

15. マリー・キュリーを会員に選んだアカデミーのリスト-2

1920	デンマーク王立科学文学学士院
1921	バッファロー自然科学協会
1921	ニューヨーク鉱物学クラブ
1921	北アメリカ放射学協会
1921	アメリカ自然科学博物館
1921	ニュー＝ジャージー化学協会
1921	工業化学協会
1921	クリスチャニア学士院
1921	ノックス芸術科学学士院
1921	アメリカ・ラジウム協会
1921	ノルウェー医療ラジウム研究所
1922	パリ医療学士院
1922	ベルギー・ロシア学術団体
1923	ルーマニア医学水治学気候学協会
1923	チェコスロヴァキア数学者物理学者連盟
1924	ワルソー・ポーランド化学協会
1924	アテナ心霊研究協会
1925	ルブリン医学協会

1926	ローマ《ボンティフィチア・ティベリナ》
1926	サンパウロ化学協会
1926	ブラジル科学学士院
1926	ブラジル・サンパウロ薬学化学協会
1927	モスコ科学学士院
1927	ボヘミア文学科学協会
1927	ソビエト科学学士院
1927	北アメリカ・州連合医学研究性協会
1927	ニューゼラント学会
1929	ポズナン科学司会
1929	ニューヨーク医学学士院
1929	アメリカ・ポーランド人医学歯科学協会
1930	フランス発明家学者協会
1931	ジュネーブ世界平和連盟
1931	アメリカ放娯専門学校
1931	マドリッド物理学自然科学学士院
1932	帝室ウィンドイン自然科学学士院
1932	ワルソー医学学会
1932	チェコスロヴァキア化学学会
1933	イギリス放娯専門協会

■ 医療関係

17. 科学者の社会的役割

研究だけでなく
医療や産業にも放射能障害のリスクが存在



マリー・キュリーの「否認」
対策への消極性

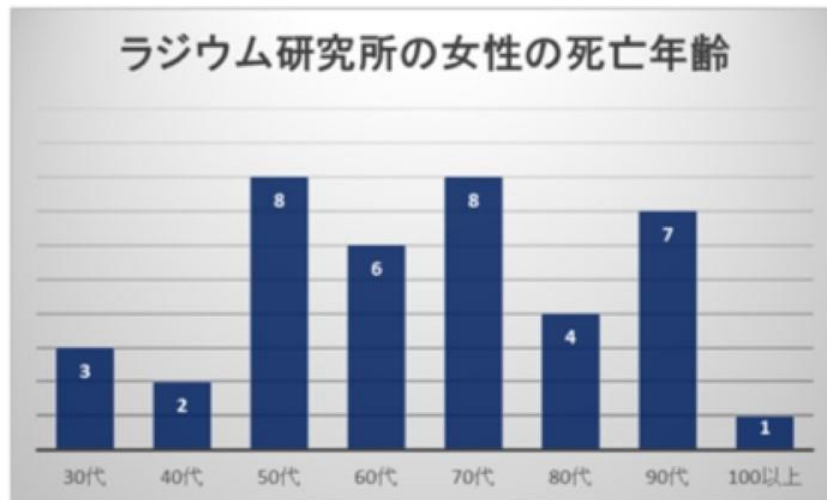


リスクの拡大



18. マリー・キュリーは単に「がんこ」でラジウムを偏愛していたのか？

- ① ラジウム研究所の女性の寿命グラフ
——「放射能は身体に悪い」と断定しにくい



放射能の身体への影響の個人差

- ② 産業界に対するマリー・キュリーのイメージ
“もうけ主義で予防に金をかけたがらない”企業
産業界のみへの不信：完全な事実ではないが全くのウソでもない企業の実態

19. 「悪人」とは誰か？

ピエールの講演の「悪人」とは誰か？

キュリー夫妻のイメージ

A

・研究も医療も
聖なる活動

VS

B

・もうけ主義の産業界
・兵器の開発などの死
の商人

「悪人」



20. 未来への提言

「悪人」は簡単に決まらない

重要な事は

{ 外からの眼
現場の下の声をすくい上げる
システムの構築



科学界・医療界・産業界の発展

